

<第4554回>

目的地：摩耶山(六甲)

担当者：柴崎

実施日：2024年12月8日(日)

形式：初級ハイキング

費用：¥660(阪急大阪梅田駅起終点)

参加者：11名

天気：晴

行程：

JR 新神戸駅 9:45 出発→東山(10:45)→学校林道・天狗堂分岐(11:40)→摩耶山(12:30)[昼食](13:00)→杣谷峠(13:30)→杣谷堰堤(15:00)→阪急六甲駅(15:40)解散

感想：

例会の二日ほど前より急に寒くなりました。寒さ対策が気になり冬山装備に変更しましたが、まだ足りないくらいでした。新神戸駅から出発、しばらくすると思いがけず美しい紅葉が現れ、幸先のいいスタートになりました。長く続く階段の途中で見事なイチョウと紅葉を見つけて思わず駆け寄りました。旧摩耶道に入るまでは紅葉が美しく紅葉狩り気分でした。東山から学校林道に続く道は地味で歩きにくい高さの階段もありますが、色づいた枯れ葉が舞い落ちそれなりの風情がありました。六甲縦走路に出ると雰囲気は一変します。いつもの六甲、アップダウンがこんなにもあったかしらと思いながら摩耶山近くのゴロゴロ岩に差し掛かると、沢山のハイカーが行き来し、掬星台はいつもの賑やかさ、青雲会もいつもの屋根の下にひとテーブルを確保して昼食にとりかかりました。気温は7℃ですが体感はずっと低く、お湯を沸かしても震えながらの昼食を終えて記念撮影、早々に下山に向かいました。アゴニュー坂を下る途中で小雨と小雪がちらつき、寒さを納得しました。杣谷峠まで来るとあと下るだけ、と多少の安心感を覚えましたが、とんでもない勘違いでした。水量が少ないので渡渉は渡り易いのですが、落ち葉や砂利、下り階段や岩場が多くて気の休む間もありません。しかし、峠から杣谷堰堤まではまたも美しい紅葉を楽しむ事が出来ました。

特記事項：

杣谷峠は最近の地図では大きくカスケードバレーと表示され江戸時代末期に整備された徳川道の一部とのことです。登っても下っても楽しめるコースです。

小滝の連続する流れは一日でも大雨が続くと表情が一変します。前日雨が降れば歩かない方がいいでしょう。